

119
A5278

陳情書

平出喜三郎
外二百四十六名

謹此一書、裁、以、內、閣、總、理、大、臣、備、壽、大、限、重、信、閣、下、自、白、人、頭、者、說、為、之、裁、判、院、位、館、控、訴、院、其、位、置、內、地、移、之、世、間、時、之、意、平、此、說、若、事、實、道、之、用、元、下、境、論、

明治三十四年
三月廿七日

明治三十四年
三月廿七日



114
A2576

大正十一年四月

陳情書

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

大隈侯爵郵寄贈

謹一書ヲ裁シ内閣總理大臣伯爵大隈重信閣下ニ白ス

頃者説ヲ為スモノアリ曰ク裁判所位置及管轄區域ヲ改正セラレ我函館控訴院ハ其位置ヲ内地ニ移サレントスト生等ハ之ヲ信セス然レ凡世間時トシテ意表ノ事アリ不幸ニシテ此説若シ事實ニ中ラシカ之レ北海全道ヲ困厄ノ境ニ陥ルハノ措置ナリ

生等ハ進ニテ其非ナル所以ヲ闡明
シ之ヲ閣下ニ具セサルヲ得ス

蓋シ文明國ノ第一要件タル法律ノ
保障トハ單ニ法文ノ完整ト法官ノ堪
能トヲ指スニ止マラス併セテ容易ニ之ニ
頼ルヲ得ルノ方便ヲ具スルノ義ナリ故ニ
法律ノ保障ヲ堅クシ文明國タルノ實ヲ
全フセントスル我國ノ政府ニ於テハ單ニ
法典ノ發布法官ノ撰任ニ勤ムルヲ以
テ足レリトセス切ニ意ヲ此ノ方便ヲ益ニ



具備スルテニ效シ即チ國情ト財政ノ
許ス限リハ進テ裁判所ヲ増設シ其管
轄區域ヲ狹小スルノ方針ヲ執ルテ
要ス若シ苟モ昧者ノ議ニ惑ヒ却テ通
常裁判所ノ數ヲ減シ以テ國民ノ法
律保障ノ福祉ニ浴スルヲ阻礙スルカ
如キテアラハ之レ我國ヲシテ事實上
文明ノ域ヨリ却步セシメントスルモ
ナリ生等ハ國家進運ノ大義ニ明カ
ナル當局者ニ於テ斯ル不替ナキヲ

信セント欲ス

近時法衛事務ノ状勢ヲ見レハ控訴院ノ数ヲ減スルノ甚ク恰當ナラサルヲ知ルニ足ルヘシ往時ニ在ツテハ民刑訴訟事件ノ大半ハ第一審ノ判決ニ服シ茅ニ審ヲ仰クモノ頗ル少カリシモ近時ハ状勢全ク反シ茅一審ニ止マルモノ稀ニシテ茅ニ審ヲ煩ハスモノ却テ十中七八ヲ占ムルニ至レリ或ハ此状勢ヲ以テ健訟ノ習起レリトシテ慨スルモノアル



◎常野昭華堂製

モ蓋シ人權發達ノ過渡ニ於テ一時此ノ顯象在ルハ到底避ク可カラサルノ教ナリ假ニ之ヲ以テ全ク健訟ノ惡風ニ出ツトスルモ之ヲ矯正スルニハ更ニ他ニ方法ノ在ル有リ控訴院ノ数ヲ減シテ之ヲ制セントセハ必ス犄角殺牛ノ失アルヲ免レス故ニ若シ甲地ニ一ノ控訴院ヲ置クノ要アレハ須ク新ニ之ヲ増設ス可シ或ハ乙丙兩地ノ控訴院ヲ合併シ或ハ乙地ノモヲ甲地ニ移サント

スルカ如キハ決シテ時務ヲ識ルモノ、措置
ニ非ス

前述ノ如ク裁判所ノ数ヲ減シ若クハ
其移動ヲ計ルハ大体ニ於テ之ヲ非ト
スヘキノミナラス殊ニ函館ニ在ル控訴
院ヲ他ニ移サント云フニ至リテハ百ノ
不可ナルヲ見ルモノ可ナル所以ヲ知
ラス生等ハ絶對的ノ反見ナリトシテ
之ヲ迎フルヲ憚ラサルナリ
北海道ハ民口稀少ナリト雖凡廣袤ハ奥



羽七縣ヲ合シタルモノト相如キ水陸貨
物ノ年産額無慮貳千萬圓而シテ
其ノ發達ノ快速ナル年一年人口ハ一割
以上ノ速度ヲ以テ増加シ產物ハ二割
ノ高率ヲ以テ繁殖ス其ノ社會的狀
態已ニ今日ニ於テ一箇若クハ二箇ノ控
訴院在ルヲ必要トスルノミナラス更ニ
三箇ヲモ要スルニ至ルハ決シテ遠カラス
故ニ為政ノ衝ニ當ルモノ少クトモ十年
ノ長計ヲ有セハ函館控訴院ノ外ニ

尚ホ札幌若クハ東海岸ノ形勝ヲトシ以テ異日別箇ノ控訴院ヲ置クノ地ヲ為スヤ必セリ焉ソ函館控訴院ヲ移スドテ是レ思ハシ哉
特ニ生等ノ勵聲シテ閣下ニ聞セント欲スルハ外人ノ内地雜居後必ス控訴院ヲ函館ニ置カサル可カラサルト是レナリ夫レ我國ニ於テ法律ノ保障十分ナラサルトハ實ニ條約改正ヲ礙ケタル一大難關ニシテ外人ノ身命財產ヲ我國

ニ寄スルヲ憚リタルハ一ニ之ニ職由不故ニ對等ノ關係成リタル今日以後ニ於テモ外人ヲシテ最モ容易ニ我國法ニ頼テシムルトヲ計ルハ當然我國ノ外國ニ對シテ執ル可キノ義務タリ若シ之ヲ怠ラシカトトハ國交不均等ノ舊日ヲ再來スルノ惧無キニセヨ少クトモ子來ノ外人ヲシテ不安惶惑ノ思ヲ為サシムルノ誓リハ決シテ逃ル可カラス之レ豈ニ國家ノ体面ト信用トヲ保持シ

又々對外貿易ノ進捗ヲ計ルノ道ナ
ランヤ然ルニ我税関法及税關規則ノ
改正セラレサル限リハ横濱新潟以北
即チ日本ノ北半部ニ於テハ函館ノ
外又々一ノ外國輸出入貿易ノ行ハ
ル可キ港灣アルナシ已ニ唯一ノ外
國輸出入貿易地タリ今後タトヘ各地
ニ外人ノ雜居スルナアルモ此地方ニ
於テ最モ外人ノ膺集シ最モ外人訴
訟事件ノ頻繁ナルハ函館ニアルナ論



ヲ歎タス隨テ外人ヲシテ容易ニ我法
律ニ頼リ其保障全キヲ感セシナルニハ
控訴院ノ所在ヲ函館ニ擇フヲ以テ
最モ可トスルナ亦々萬人ノ共ニ認ム
ル所ナリ閣下乞フ思フ期年ノ後ニ騁
セヨ
行政ノ改革財政ノ整理ハ曠世ノ美
事ニシテ生等ノ額手相慶スル所ナリ
然レモ若シ其方法ヲ誤リ函館控訴
院ヲ移サントシ而カモ之ヲ以テ財政

整理ノ一端トスルニ至リテハ是レ惟フ
ニ愚婦ノ見ノミ周ヨリ風説ノ如ク宮
城函館ノ兩控訴院ヲ合シ他ニ一院
ヲ設クル時ハ俸給廳費ノ上ニ於テ或
ハ貳萬圓ニ近キ節減ヲ為スヲ得ヘ
シ然レモ之カ為メニ囚人護送費刑事
訴訟費ノ増加スル丁幾許ソ又々民間
行訟者ノ旅費ヲ増加スル丁幾許ソ
到底國庫ハ何ノ得ル處ナリ國民ハ時
日ト金錢トヲ多費スルニ終ラン更ニ著



○常野紹華堂製

目スヘキハ廳舎ノ創設費ナリ之ヲ別
ニ新築セハ少クトモ拾萬圓ヲ擲タサル
ヘカラス今ヤ函館控訴院ノ工事成ル
ニ垂ントスルニ際シ之ヲ棄テ、更ニ拾萬
ノ失費ヲ為サントス之レ抑々何等ノ算
教ニ據ルカ改革ノ結果假ニ貳萬圓
ヲ全減シ得ルトスルモ拾萬圓ノ損失
ヲ填補スルニハ少クトモ五年ノ長日
月ヲ閲セサル可カラス將來五年ノ後
ニハ復々函館ニ控訴院ヲ要スルニ至

ルハ必然ノ勢ナリ果シテ然ラハ函館
控訴院移轉ハ好シテ無用ノ業ヲ始メ
國庫ニ損失ヲ与ヘ國民ニ困弊ヲ加フ
ルノ失計ナリト稱スルモノアルモ之ニ答
フルノ辭勿ル可シ

閣下ノ賢明ナル階前千里タトヘ昧者
若クハ公益ヲ忘ル、一部人士ノ在ル有
リテ函館控訴院移轉ノ議ヲ奉ルモ
之ニ耳目ヲ假サル、丁十キハ生等ノ固
ク信スル所ナリ然レモ近時斯ノ蜚語



◎常野昭華堂製

ノ傳ハル丁甚々繁ク為メニ生等ヲシテ
或ハ萬一ノ不虞有ラシ丁ヲ懼レシム故
ニ杞人ノ行ニ倣フノ謗アルモ本件ニ對ス
ル生等ノ議ヲ具シ情ヲ暢フルハ少クト
モ自ラ安ニスル所以ノ道ナルヲ思ヒ敢
テ此書ヲ呈ス閣下乞フ生等カ尊威
ヲ冒瀆スルノ罪ヲ咎メス幸ニ採納ヲ
賜ヘ

明治三十一年九月十七日

北館製紙所

北海道渡嶋國函館區船見町百十番地

平出喜三郎



全 末廣町百十番地

小川幸兵衛



全 今 町十番地

平田文右衛門



全 元 町四拾番地

遠藤吉平



全 西濱町廿七番地

相馬理三郎



全 東濱町廿一番地

和田惟二



全 富岡町五番地

金澤彦作



全 末廣町十九番地

藤又右衛門



全 辨天町

相馬哲平



全 大町十七番地

網塚忠兵衛



全 東濱町百五十番地

全 伊豫田德次郎

全 西川町二十九番地

全 佐野平

全 豐川町九番地

全 毛利甚兵衛

全 富岡町六番地

全 季富健吉

全 曙町五番地

全 茂木克太郎

全 仲濱町四番地

全 辻快三

全 西川町七十八番地

全 竹本七左衛門

全 惠比須町五十九番地

全 奥川寅次郎

全 大森町三番地

全 澁田萬藏

全 末廣町八十番地

全 大地宇吉

全 東濱町六番地

樋口重親

全 惠比須町十三番地

阿部宇兵衛

全 東濱町三十六番地

石塚彌太郎

全 西濱町十九番地

小山治三郎

全 全町八番地

小山大次郎



全 末廣町九十八番地

種田甚力七

全 相生町十七番地

赤坂辨治

全 仲濱町四番地

樋爪與兵衛

全 地藏町四十四番地

金子重義

全 全町四十番地

本間與作

今 旅籠町六十一番地

今 工藤九兵衛

今 富岡町五番地

今 伊藤鑄之助

今 大町十八番地

今 高倉儀兵衛

今 西川町六十四番地

今 清水大藏

今 富岡町十番地

今 矢本末四郎

今 東濱町五十四番地

今 龜井邦太郎

今 今町合番地

今 龜井三郎

今 末廣町八十二番地

今 龜井惣十郎

今 辨天町二十七番地

今 八田兼太郎

今 東濱町四十八番地

今 伊藤 宗

二帝州昭華堂製

今 東川町三十五番地

今 石垣喜一郎

今 臺町八番地

今 藤村駒吉

今 末廣町四十二番地

今 菅谷善司

今 鍛冶町廿五番地

今 宗戸清七

今 鱧澗町二番地

今 藪越増太郎

二常軒昭華堂製

今 仲瀆町廿七番地

今 藤井猪之助

今 西瀆町三十四番地

今 佐藤甚之助

今 末廣町四十六番地

今 澁田利右衛門


今 豊川町二番地


今 内山金兵衛


今 末廣町八十三番地

今 三ッ谷鉄藏


二常軒

合 豊川町四十七番地 


合 小池 藤五郎 

合 東川町二百廿八番地 


合 小林 真吉 


合 青柳町六番地 

合 四ツ柳 亀太郎 


合 辨天町六十八番地 

合 堀 彌平 


合 宝所十三番地 


合 笹村惣助 

◎常野昭華堂製


合 汐見町十七番地 


合 杉浦嘉七 


合 天神町廿五番地 


合 小林 幸助 


合 辨天町三十六番地 

合 小西千太郎 

合 青柳町四十二番地 

合 上田 作右衛門 

合 會所町五十二番地 

合 下田 孝吉 

今 船場町廿二番地

今 金丸善太郎

今 西川町三十六番地

今 菊地伊勢治

今 天神町三十三番地

今 荒谷多治郎

今 仲濱町二十一番地

今 浦田久吉

今 船場町十番地

今 目黒萬次郎

今 仲濱町十番地

今 川口善太郎

今 東濱町五番地

今 納代東平

今 蓬萊町一番地

今 畑野守三郎

今 西濱町三十五番地

今 松橋家作

今 西川町七十八番地

今 齋藤文治

合 西濱町廿四番地

合 相馬助次郎

合 西川町五十一番地

合 大橋松藏

合 蓬萊町百三十九番地

合 遠山兼藏

合 辨天町卅八番地

合 齋藤重藏

合 蓬萊町十八番地

合 池田清兵衛

二帝野昭幸堂製

合 相生町十六番地

合 大下喜久之丞

合 末廣町六十二番地

合 大岡月次郎

合 元町四十七番地

合 鹿野忠平

合 豊川町一番地

合 佐野定七

合 辨天町廿四番地

合 五十嵐市太郎

天正

合

船場町三番地

谷津菊右衛門



合

末廣町二番地

岡本忠藏



合

西濱町廿八番地

太刀川善吉



合

今町廿八番地

小林熊吉



合

末廣町六十番地

奥津鶴吉



五

合

相生町九十一番地

柴沼由之



合

會所町五十八番地

坂本藤吉



合

鶴岡町七十一番地

百瀬傳次郎



合

音羽町八十四番地

筒井駒吉



合

西川町五十一番地

石川真藏



△ 東濱町二十二番地

△ 岩佐梅太郎

△ 今町五十三番地

△ 杉村福松

△ 大町三十八番地

△ 新彌七郎

△ 東川町二百六番地

△ 濱浦三四郎

△ 鶴岡町三番地

△ 佐藤太郎吉

△ 末廣町九十七番地

△ 佐藤彦左衛門

△ 船場町三番地

△ 田村音吉

△ 今町五番地

△ 近藤孫三郎

△ 末廣町八十五番地

△ 栗田寿吉

△ 今町十五番地

△ 若山惣太郎

△ 會所町九番地

△ 石館兵右衛門

△ 惠比須町五十六番地

△ 紺野松次郎

△ 高砂町廿六番地

△ 西町徳松

△ 相生町三十三番地

△ 丸谷勝太郎

△ 富岡町十番地

△ 越村清勝

◎ 常野昭華堂製

△ 富岡町八番地

△ 小柳治郎吉

△ 惠比須町十八番地

△ 加藤久太郎

△ 住吉町廿四番地

△ 佐藤作太郎

△ 末廣町五十六番地

△ 菊地治郎右工門

△ 西川町七十番地

△ 岩船和助

△ 大町二十番地

山本己之助

△ 東濱十九番地

小橋榮太郎

△ 西川町廿二番地

白井猶次

△ 末廣町九十番地

松岡與八郎

△ 末廣町廿八番地

池田六右工門

△ 沙留町廿三番地

三野嘉助

△ 末廣町百二番地

今井市右工門

△ 今町三十八番地

岡田小八郎

△ 西濱町三十七番地

酒谷小三郎

△ 若松町百十一番地

蛸嶋五郎右衛門

合

大町三十七番地

實名顯義



合

地藏町五十六番地

木下清次郎



合

相違町三十三番地

澤田光長



合

惠比須町五十五番地

芳賀元仲



合

東廣町三十六番地

佐々木定吉



合

西川町十一番地

村田半治郎



合

東濱町四十五番地

山田亀吉



合

青柳町七番地

松尾兼松



合

末廣町九十一番地

茶慶治



合

合町百十四番地

畑野長兵衛



合

天神町九十番地

漆木廣吉



合

鶴岡町五十九番地

釣谷又右衛門



合

東川町二百三十八番地

宮崎竹四郎



合

大町七番地

常野與兵衛



合

合町三十五番地

常野壽治郎



常野昭華堂製

合

大黒町九十五番地

田邊萬吉



合

末廣町九十八番地

植田清治



合

鶴岡町八番地

足澤喜兵衛



合

沙留町八番地

荻谷鉄之助



合

末廣町五十九番地

矢野鏡太郎



合 若松町百十四番地
森田富太郎

合 蓬萊町百五十四番地

合 長谷川吉藏

合 豊川町三十三番地

合 佐々木市造

合 地藏町一番地

合 福泉榮造

合 惠比須町四十三番地

合 市田民藏

常野昭華堂製

合 東川町十五番地

合 佐藤太郎治

合 大黒町十九番地

合 小針三太郎

合 末廣町四十番地

合 渡邊源太郎

合 大黒町九十五番地

合 花澤儀三郎

合 今町合番地

合 花澤儀平

全 末廣町十八番地

興村吉五郎

全 若松町九十一番地

濱岡源助

全 大黒町七十一番地

市田亀次郎

全 末廣町三十七番地

堤壽藏

全 西川町七十一番地

福田由松

常野昭華堂製

全 西川町七十番地

福田勝太郎

全 末廣町八番地

長崎馬三郎

全 全町四十一番地

三浦喜次郎

全 東川町百七十四番地

大村多吉

全 東瀧町九番地

大久保峯吉

相生町十八番地

油谷利三次



天神町九十之番地

竹内亀吉



西濱町二十番地

鍋田為藏



東川町三十四番地

佐藤文次郎



天神町八番地

水田長右衛門



末廣町五十二番地

梅津福次郎



地藏町六十六番地

白戸政次郎



若松町八十九番地

大木長藏



真砂町四番地

池田重吉



東濱町十九番地

杉山善次郎



今 末廣町七十七番地

今 三宗權治郎

今 今町九十三番地

今 山本猪之吉

今 地藏町五十一番地

今 高橋忠三郎

今 辨天町二十一番地

今 杉野三次郎

今 地藏町六十三番地

今 加藤慶次郎

常野昭華堂製

今 東川町百一番地

今 林與三松

今 辨天町八十四番地

今 堀重兵衛

今 海岸町九番地

今 若林長吉

今 東川二百二十一番地

今 嶋倉權次郎

今 鶴岡町十七番地

今 近藤寅吉

△ 宝町六番地

△ 新保清吉

△ 相生町七十九番地

△ 井田倭吉

△ 辨天町四十一番地

△ 国領平七

△ 宝町二十五番地

△ 澤口彌六

△ 豊町六番地

△ 安森善吉

○常野昭華堂製

△ 東川町二百三十五番地

△ 高橋清作

△ 鶴岡町五十八番地

△ 東出長四郎

△ 末廣町廿九番地

△ 小西清吉

△ 大町三十七番地

△ 中橋豊藏

△ 仲瀆町三十二番地

△ 高嶋佐吉

△ 末廣町七十九番地

△ 米谷 與太郎

△ 幸町八番地

△ 酒谷 善 月力

△ 蓬萊町百三十番地

△ 飯嶋 春吉

△ 室町一番地

△ 明石 茂太郎

△ 地藏町五十四番地

△ 萩野 市兵衛

△ 西瀧町二十五番地

△ 石澤 孫十郎

△ 真砂町二番地

△ 八木 友七

△ 西川町六十四番地

△ 田中 春吉

△ 會所町八番地

△ 田澤 文藏

△ 今町四十七番地

△ 山田 竹次郎

○ 萩野昭幸堂製

123

△ 辨天町五十四番地

品田 鹿造



△ 相生町廿六番地

山口 利太郎



△ 音羽町七十番地

藤林 寅吉



△ 東川町二百四十一番地

成瀬 正経



△ 末廣町百四番地

渡邊 熊四郎



△ 會所町三十三番地

久慈 柳治



△ 大町十三番地

藤井 利三郎



△ 今所十五番地

笹水 藤兵衛



△ 惠比須町十九番地

石川 藤助




△ 東川町百四十一番地

川崎 良吉




◎ 常野昭華堂製

合 西濱所廿八番地

大越久太郎 

合 船場町三番地

高森忠藏 

合 相生町十番地

村田豊吉 


合 真砂町二番地

池田登良二 


合 末廣町五十八番地

藤山儀藏 


合 今町百十二番地

興村忠兵衛 


合 住吉町百三十八番地

丸山磯吉 


合 西川町六十番地

奥村元三郎 

合 鶴岡町七番地

種田直右衛門 

合 西川町九十九番地

清水政吉 

常野昭華堂製

△ 豊川町三十五番地

△ 池田勝右衛門

△ 青柳町十八番地

△ 熊谷経太郎

△ 元町十五番地

△ 星川甚八

△ 大町三十一番地

△ 青木榮次郎

△ 惠比須町三十七番地

△ 松本庄太郎

△ 相生町九十六番地

△ 藤澤利助

△ 惠比須町十三番地

△ 八若長松

△ 富岡町二番地

△ 高木五三郎

△ 末廣町九十四番地

△ 加藤文五郎

△ 天神町三十一番地

△ 工藤彌兵衛



常野昭華堂製

今 曙町一番地

高橋文之助

今 仲瀆町廿八番地

宮崎松太郎

今 春日町十五番地

渡邊藏之助

今 末廣町七十五番地

今 井良七

今 苗町一番地

大矢太助

今 末廣町九番地

田宮善次郎

今 町七十八番地

松山吉三郎

今 船場町十五番地

服部半左衛門

今 辨天町六十三番地

岩船峯次郎

今 沙留町一番地

白土善造



常野昭華堂製

今 末廣町百一畝地

今 仲村金右衛門

今 曙町八畝地

今 畑東太郎

今 宝町廿七畝地

今 加藤茂平

今 曙町十六畝地

今 佐藤潔

今 會所町十八畝地

今 二階壹伊一

今 元町十六畝地

原田良八

今 元町三十五畝地

内山例之助

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

常野昭彦堂

内閣藏野大皇山書本朝畫部類

仲村全石所門

烟

陸町十七番地

加藤

内山十國

尾田

原所由十八番地

天德寺

藏書

印

天德寺

印

印

印

印

印

印

印

1925
H. H. H. H.
H. H. H. H.

1925
H. H. H. H.
H. H. H. H.